

令和4年度  
学校関係者評価 報告書

令和5年1月

学校法人 康学舎  
横浜中央看護専門学校  
学校評価委員会

# 令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人 康学舎  
横浜中央看護専門学校  
自己点検・評価委員会

横浜中央看護専門学校 自己点検・評価委員会が実施した令和4年度自己点検・自己評価結果に基づき、下記により開催した学校関係者評価委員会における審議結果を、以下の通りご報告いたします。

## 記

### 1 学校関係者評価委員

委員長	桜ヶ丘中央病院 看護部長	中村 峰子
委員	さがみリハビリテーション病院 事務長	海野 幸村
委員	笠のぎ稲荷神社 宮司	小野 和伸
委員	横浜中央看護専門学校 学生保護者	一ツ柳 かほる
委員	横浜中央看護専門学校 卒業生 (社会医療法人財団 石心会 川崎幸病院 看護師)	光岡 優

### 2 学校評価委員(教職員)

横浜中央看護専門学校	学校長	柳谷 良子
横浜中央看護専門学校	副学校長	土江 順子
横浜中央看護専門学校	事務長	楫野 俊彦
横浜中央看護専門学校	学科長	澤村 恵子
横浜中央看護専門学校	副学科長	西浜 佳子
横浜中央看護専門学校	事務部 主任	斎藤 有紀

### 3 学校関係者評価委員会

#### (1) 第4回委員会

- ① 日時 : 令和5年1月26日(木) 10:00~12:00
- ② 場所 : 横浜中央看護専門学校 5階大会議室2
- ③ 会議概要
  - ・ 本年度重点目標並びに事業計画説明
  - ・ 本年度 自己評価項目の説明
  - ・ 本年度 自己評価内容についての報告
  - ・ 上記内容に対する意見や提案
  - ・ 総評

### 4 評価指標

#### (1) 自己点検・自己評価

- ・ 評価項目について、教職員が4段階で自己評価を実施。  
4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切

#### (2) 学校関係者評価

- ・ 自己点検・自己評価が適切になされているかを、4段階で評価。  
評価人数を割合で表記する。  
4 : 適切 3 : ほぼ適切 2 : やや不適切 1 : 不適切

### 5 評価結果

#### (1) 評価日及び評価者

- ① 評価日 : 令和5年1月26日(木)
- ② 評価者 : 5名(中村、海野、小野、一ツ柳、光岡)

## 6 評価項目ごとの審議結果

評価項目1 教育理念・目的・目標				
<p>評価の視点</p> <p>1-1. 学校の教育理念・教育目的は周知されている。</p> <p>1-2. 育成すべき人材像等を含む教育目標が周知されている。</p> <p>1-3. 理念・目的・目標・育成人材像や特色などが学生、保護者等に周知されている。</p>				
<p>〈現状の取組状況・課題等〉</p> <p>1-1. ・教職員へ入職時に、学生便覧をもとに説明を行っている。 ・年度末に各領域看護学・委員会・学年担当の評価修正および次年度の方針作成時に教育理念・教育目的と照合しながら行っている。</p> <p>1-2. ・今年度からカリキュラム改定に伴い、「アドミッションポリシー」「カリキュラムポリシー」「ディプロマポリシー」の3つのポリシーを作成した。 ・3つのポリシーには、医療者としての倫理観や人間性を養い、対象となる「人」の理解、科学的に看護をとらえる力、看護師役割・責任、チームの一員、専門職としての自覚と自己成長等を含んでいる。 ・年度末に各領域看護学・委員会・学年担当の評価修正および次年度の方針作成時に教育目標と各学年に応じた目標と照合しながら行っている。</p> <p>1-3. ・学校説明会時に参加者に対して、説明を行っている。 ・保護者等には3月の入学前オリエンテーション時に伝えている。また入学生には初年次セミナーで説明している。</p>				
学校関係者評価				
評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	5			
<p>〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉</p> <p>・ 臨床の現場で在宅分野の知識の必要性を実感する機会があるので、新カリキュラムで地域・在宅の分野が強化されているのは、学生たちにとって良いことだと感じている。</p>				

## 評価項目2 学校運営

### 評価の視点

- 2-1. 教育理念・目的・目標等に沿った運営方針を策定している。
- 2-2. 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されており、有効に機能している。
- 2-3. 人事・給与に関する制度が整備されている。
- 2-4. 教育活動等に関する情報公開が行われている。
- 2-5. 情報システム化等による業務の効率化が図られている。

### 〈現状の取組状況・課題等〉

- 2-1. ・教育理念・目的・目標に沿った、学校運営方針を毎年学校運営会議で再検討・策定し、康学舎理事会を経て決定している。決定した方針に関しては、年度初めに管理者から各部署の職員に説明を行っている。
- 2-2. ・学則第14・15条、会議に関する細則、委員会規定に則り、学校運営や委員会運営を行っている。会議の内容については議事録を記録し、職員間のグループウェア上にデータで共有している。
- 2-3. ・上尾中央医科グループには、全職種の人事・給与制度があり、それにおおむね従っている。制度については、採用面接時に説明している。  
・毎年4月の定時昇給時、7月・12月の賞与の時期に各部署の管理者(教員は学校長・副学校長、事務は事務長)と各個人が面談し説明している。説明内容については、人事評価に関するフィードバックも含まれる。
- 2-4. ・学校ホームページ上の「情報公開」ページにて、本校の教育活動に関する情報を掲載し、広く公開している。
- 2-5. ・学籍管理システムを導入し、IC学生証をタッチすることで出欠を管理している。また、各教職員のスケジュール・会議の議事録等はグループウェアを利用し、共有している。

### 学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	5			

### 〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

特記事項なし

## 評価項目3 教育活動

### 評価の視点

- 3-1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されている。
- 3-2. 教育理念等を踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間は適切に確保されている。
- 3-3. 職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発が行われている。
- 3-4. 授業評価を実施し評価体制を確立している。
- 3-5. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準が明確になっている。
- 3-6. 資格取得に関する指導体制が、カリキュラムの中で体系的に位置づけられている。
- 3-7. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保している。
- 3-8. 職員の能力開発のための研修等に参加している。

### 〈現状の取組状況・課題等〉

- 3-1. ・指定規則を基準とし、人間理解、人体の構造と機能、病気と治療、基礎看護学、各領域看護学と体系化し、講義・演習実習と構築し実施した。年度末には、領域ごとに見直しを行い、教務会議を通して、教育理念・目標等の再確認を行っている。  
・講師会議について、今年度は2年ぶりに対面にて4月に実施し、教育方針および講義方法・学生状況等を伝えた。また、参加されなかった講師には、カリキュラム委員・学年担当から初講時に説明を行っている。
- 3-2. ・カリキュラム構造図をもとに各科目を順次組み入れ進めている。  
・年度末に、カリキュラム委員会・各領域と連携しシラバス、進度時期の見直しを実施している。
- 3-3. ・1年次に、看護学生として学ぶ意義を考え目的意識を高めること、医療従事者として必要や接遇やマナーを理解し行動できるための基礎を養うこと、人間理解(自己・他者)を目的とし、3つの科目「初年次セミナー」「医療従事者に必要な接遇とマナー」「人間関係論Ⅰ」を設定した。  
・2年次に戴帽式を行い、将来のビジョンをより明確にする。  
・2・3年次には実践者になる自分を明確に思い描けるように、将来の自分を設計する講義を認定看護師に依頼し、行った。  
・認知症サポート養成講座を講義に含め行っている。  
・1年次教科外では、医療者としてのメイク・身だしなみ講座等を実施している。
- 3-4. ・講義及び実習の評価は、科目の講義終了時にWebポータルサイトを通じて、行っている。  
また、非常勤講師には結果を送付している。授業評価の結果を参考に、講義方法や演習を組み入れる等の工夫を行っている。
- 3-5. ・単位認定試験及び評価については、学生便覧に学則と履修要綱について示している。  
C(60点)以上を合格としている。  
・今年度より試験問題・解答用紙の返却をせず、ポータルサイトで点数のみを公開している。
- 3-6. ・基礎看護学、各領域看護学、統合分野の流れを講義・臨地実習を組み入れている。  
・今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の実習が学内での実施となった。
- 3-7. ・各科目に適した経歴及び有資格者や、実習施設でも臨床指導者講習修了者または準ずるものを選定し配置している。  
・専任教員で未資格者の場合は、毎年1~2名講習会へ受講を促している。  
今年度4月時点で常勤の専任教員は全員教員資格を取得している。

- 3-8. ・年度末に研修計画書を提出、希望の研修に参加できるようにしている。また、年間 2～3 回の管理職との定期面接時に、本人の将来の希望と学校側の要望をお互いに確認し、必要と思われる研修参加を促している。
- ・研修会参加後は、報告書を提出、必要時に伝達講習を行っている。また、研修内容をもとに講義・演習、実習、学生との関わり方等に反映している。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防の観点から web 開催が増加したが、講義日程等の関係から参加が少なかった

学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	5			

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・今年度から再々試験をなくしていることについて、わが家ではより試験前の学習に集中して取り組む事ができているため好意的に受け止めている。また、実際に再試験を受ける学生は減っており、学習に取り組む姿勢にも変化がでているとのことなので、評価できると考える。

## 評価項目4 学習成果

### 評価の視点

- 4-1. 就職率の向上が図られている。
- 4-2. 資格取得率の向上が図られている。
- 4-3. 留年・退学率の低減が図られている。
- 4-4. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握している。

### 〈現状の取組状況・課題等〉

- 4-1. ・各病院からのインターシップ・就職説明会の情報揭示
  - ・インターシップ講座、小論文・面接対策講座について学生委員会が内容を企画し、上記対策講座を業者に依頼し、実施している。
  - ・各学年で4月に学生へ就職希望調査を行い希望や適性を踏まえ、施設・病院等の助言を行っている。
  - ・今年度(2022年12月時点)は神奈川県内の就職率が70名中68名決定している。  
(1名進学希望・1名未決定)
- 4-2. ・学力向上委員が主軸となり、入学時から国家試験ガイダンス、模擬試験、国家試験対策を計画的に実施している。
  - ・各学年に国家試験対策委員を設け動機付けを行っている。
  - ・3学年でグループ編成し、グループ学習や個別相談によって担当教員がサポートする。
  - ・Webポータルサイトを通じて、問題と解説の掲示する。
  - ・国家試験終了後に各領域担当は問題の傾向を分析し、講義・実習に組み入れる。
- 4-3. ・学力向上委員会が中心となり、試験結果や欠席の状況等をもとに、学生と面談しサポートしている。必要時、カウンセラーを勧め、保護者と面談を行っている。
- 4-4. ・就職先の看護部長や教育担当等に、学校来校時や就職説明会や実習でお会いした際に、卒業生の様子等を伺っている。
  - ・就職先から卒業生の様子の写真等を頂いた際は、2階の「病院からのお知らせコーナー」に掲示し学生へ周知している。
  - ・教職員には、グループウェア「サイボウズ」の掲示板に登録し、周知している。

### 学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	5			

### 〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

特記事項なし



## 評価項目5 学生支援

### 評価の視点

- 5-1. 進路・就職に関する支援体制が整備されている。
- 5-2. 学生相談に関する体制が整備されている。
- 5-3. 学生に対する経済的な支援体制が整備されている。
- 5-4. 学生の健康管理を担う組織体制が整備されている。
- 5-5. 保護者と連携している。

### 〈現状の取組状況・課題等〉

- 5-1. ・各病院からのインターシップ・就職説明会の情報掲示している。
  - ・インターシップ講座、小論文・面接対策講座を業者に依頼し、実施している。
  - ・各学年で4月に学生へ就職希望調査を行い、希望や適性を踏まえ、施設・病院等の助言を行っている。進路未決定者等の取りまとめは、学生委員会が中心となり実施している。
  - ・進路相談では、専門領域の教員がサポートしている。
- 5-2. ・スクールカウンセラーを週2回配置し、学生が相談しやすい環境づくりをしている。今年度より、電話での予約も可能とした。
  - ・オフィスアワー制度を導入し、学生が望む教員に相談できるシステムを整えている。
- 5-3. ・神奈川県看護師等修学資金・日本学生支援機構奨学金・実習協力病院施設奨学金の他、高等教育の修学支援新制度の対象校として給付型も含め4種類の奨学金制度を提供している。また、こうした修学資金や貸与型奨学金、給付型奨学金について、それぞれ説明会を実施し、希望する学生に申込みから卒業後の手続きまできめ細かく対応している。
  - ・R6年3月まで、専門実践教育訓練給付金制度の対象校となったため、社会人経験のある学生への支援体制がより強化された。継続して対象校となれるよう、次年度に継続申請していく。
  - ・物価高に対する経済対策支援として、全学生に4000円分のクオカードを配布予定。なお、費用の9割は支援金として日本学生支援機構より学校に交付される。
  - ・学校内の自販機の設定料金を若干安くしている。
- 5-4. ・毎年4月に学生・教職員を対象とした健康診断を実施している。また、学生委員会と学年担当が連携し、学生の診断結果に応じ再受診を勧め、結果を確認している。
  - ・健康診断等の結果は、健康の記録に各自記載し、学生自身も健康状態を把握できるように努めている。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、日々の健康チェックを実施した。発熱等の体調不良者への対応も順次行っている。
- 5-5. ・保護者を対象に、3月の入学前オリエンテーションや入学ガイダンスを実施している。
  - ・Webポータルサイトの運用活用し、迅速に学生・保護者への情報共有ができる様整備している。ポータルサイト上で、学生の出欠席や成績の確認も可能である。
  - ・年2回保護者宛てに学校広報誌をポータルサイトを通じて発行し、学校の様子をお伝えしている。
  - ・その他、学生個人のことに関しては必要時、保護者に連絡または面談を実施している。
  - ・各式典は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、学生・教職員のみでの実施としたが、入学式・卒業式については保護者向けにリアルタイム配信とアーカイブ配信を実施した。

### 学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	5			

### 〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に変更するという報道があるが、その場合に学校での対策を変更する予定はあるか。実習病院・施設とも調整しながら検討していくべきではないか。

## 評価項目6 教育環境

### 評価の視点

- 6-1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されている。
- 6-2. 実習施設と連携し教育体制を整備している。
- 6-3. 防災に対する体制が整備されている。

### 〈現状の取組状況・課題等〉

- 6-1. ・指定規則に基づき教材・設備を整備しており、教育環境の充実に努めている。  
・学生からの要望により、パソコン室のレンタルパソコンをスペックが高いものに入れ替えた。
- 6-2. ・実習前には、説明を兼ねて実習指導者会議を実施している。また、実習終了後も、実習担当者と振り返りを行い、次回の実習に活かしている。  
・今後も、実習指導者や病棟スタッフとの情報共有を密に行っていく。
- 6-3. ・年1回防災訓練を実施している。また、災害備蓄品を学校内に保管しており、横浜市の広域避難所として指定されている。  
・Webポータルサイトにて、安否確認機能を採用し、運用訓練を実施予定。

### 学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	5			

### 〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

特記事項なし

## 評価項目7 学生の受入れ募集

### 評価の視点

- 7-1. 学生募集活動は適正に行われている。
- 7-2. 学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報が正確に伝えられている。
- 7-3. 学生納付金は妥当なものとなっている。

### 〈現状の取組状況・課題等〉

- 7-1. ・入学試験は、細則・学生募集要項に則り適切に実施している。また、広報活動全般については、広報委員会内で内容を検討し、適切に実施している。
  - ・学校説明会・個別相談をオンラインで実施し、遠方の受験生の参加ができる環境を提供した。今年度より来校型学校説明会のオンライン参加も可能とした。
  - ・学校公式 LINE を作成し、学校からのお知らせや入試などの相談を LINE 上でできる体制を整えた。
  - ・受験生確保のため、次年度に新たな入試の実施や日程の増加を検討している。
- 7-2. ・学校ホームページ上の「国家試験・就職」ページにて、国家試験合格率並びに就職状況について、情報を公開している。
- 7-3. ・学納金に関しては、経営状況等を加味し、県の指導のもと適正な価格を設定している。
  - ・経営状況については、学校ホームページ上「情報公開」ページにて公開している。
  - ・学納金の情報については、学校説明会等で受験生に説明している。

### 学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	4	1		

### 〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

特記事項なし

## 項目8 財務

### 評価の視点

- 8-1. 中長期的に学校の財務基盤は安定している。
- 8-2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。
- 8-3. 財務について会計監査が適正に行われている。
- 8-4. 財務情報公開の体制が整備されている。

### 〈現状の取組状況・課題等〉

- 8-1. ・本校は、借入れや外部負債等も無く、安定した経営となっている。2020年4月から学費の一部値上げし、今年度より全学年が値上げ後の学費となった。  
 ・光熱費の値上げなどの影響を受けているが、施設貸出等の強化したことで、昨年度に引き続き、今年度の収支差額はプラスとなる見込みである。
- 8-2. ・年度末までに、各委員会で予算を計上し、その他経費を含めた収支予算書を、会計事務所の公認会計士と学校法人全体で作成している。
- 8-3. ・年度毎に、学校法人の業務および各種計算書類について、学校法人の監事による監査を実施している。
- 8-4. ・学校法人の情報公開規程を整備し、学校ホームページ等で一般に公開している。

## 学校関係者評価

	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
評価の適切性	5			

### 〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

特記事項なし

## 評価項目9 法令等の遵守

### 評価の視点

- 9-1. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。
- 9-2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。
- 9-3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っている。
- 9-4. 自己評価結果を公開している。

### 〈現状の取組状況・課題等〉

- 9-1. ・指定規則に則り適正に配置している。また、神奈川県の見習看護士養成所に係る指導調査や、私立学校検査等の際に指導を受けた項目に関しては、適切に改善している。  
 ・関係法令に則り、施設・設備は整っている。看護師養成所の指導要領に示されている「機械器具、標本、模型及び図書」は品目数量を満たし、登録管理している。また、利用規定をもとに運用している。
- 9-2. ・学校で使用する個人情報に関しては、個人情報保護管理規定に基づき適切に管理している。また、個人情報を閲覧できる者を限定する等、漏洩防止に努めている。また、学校ホームページ上に「プライバシーポリシー」を掲載し、受験生等の個人情報漏洩防止に努めている。  
 ・今年度より新たに「個人情報管理に関する運用ルール」「個人情報管理台帳」を整備し、個人情報の管理体制を強化した。  
 ・実習前後に患者の情報管理について要項をもとに注意喚起を行っている。実習記録は回収し記録室に保管卒業後に融解処理を行っている。
- 9-3. ・教職員の自己点検・自己評価を、毎年実施している。
- 9-4. ・自己点検・自己評価の結果については、学校ホームページ上「情報公開」ページにて公開している。

### 学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	5			

### 〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

特記事項なし

## 評価項目10 社会貢献・地域貢献

評価の視点

10-1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている。

10-2. 学生のボランティア活動を奨励、支援している。

〈現状の取組状況・課題等〉

10-1. ・町内会や保育園の避難訓練時に、本校の施設を開放している。

・TOEIC や情報処理技術者試験の試験会場として貸出を行っている。

・神奈川県主催の研修会において、本校の施設を提供し、例年連携を図っていたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の観点から研修会は開催中止となった。

10-2. ・横浜市の道路美化ボランティア活動・ハマロードを、学生や教職員で定期的に行い、参加を推奨している。

・小児看護学の講義に関連して、キワニスドール作成のボランティア活動を実施した。

### 学校関係者評価

評価の適切性	適切	ほぼ適切	やや適切	不適切
	5			

〈ご指摘・ご意見・ご提案等〉

特記事項なし

## 7 総評

今年度はほとんどの項目の評価が上昇しており、教職員の皆様の努力を感じた。高い水準を維持していくのはとても難しいことだと思うが、継続して行っていただきたい。

また学生たちの日々の努力や学校側の指導については、病院に持ち帰り、実習指導者等にも伝えていきたい。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響があり、学内実習になってしまうことが致し方ないことと思うが、ペーパーペイシエントでの実習には限界があるのではないだろうか。来年度以降、1日でも多く臨地で実習ができるようさらなる配慮をしていただきたい。

全体を通して、先生方の考えや学校運営について知ることができ、大変有意義な機会となった。ありがとうございました。